

シラバス

科目名	一般常識 I		担当者名	松木 芳文		
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義		
認定単位	2単位	開講期	選択	授業時間数	36時間	
開講学年	1学年	必・選				
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<p>〃数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。</p> <p>国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。</p> <p>社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。〃</p>					
授業概要	<p>〃数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。</p> <p>国語 漢字の読み書きを基本として、慣用語、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。</p> <p>社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。〃</p>					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション	19	数学 中間テスト1回目	国語 語句の読みと意味	
	2	オリエンテーション	20	数学 中間テスト2回目	国語 日本文学	
	3	オリエンテーション	21	数学 中間テスト2回目	国語 日本文学	
	4	国語 オリエンテーション 数学 百分率・歩合	22	数学 百分率・歩合・速度	国語 成績判定試験	
	5	数学 速度	国語 漢字の読み・諺	23	数学 単位・比例と比例式	社会 民主主義
	6	数学 単位	国語 授業のみ	24	数学 小テスト	社会 日本国憲法
	7	数学 比と比例式	国語 漢字の読み・諺	25	数学 倍数・約数	社会 国際社会
	8	数学 倍数・約数	国語 慣用語・常用漢字外	26	数学 因数分解	社会 資本主義経済・企業
	9	数学 因数分解	国語 漢字一字の書き取り	27	数学 小テスト	社会 国民経済・日本の経済
	10	数学 一次方程式	国語 二字熟語の書き取り	28	数学 一次方程式・連立方程式	社会 貨幣・金融・財政
	11	数学 連立方程式	国語 同訓異字の書き取り	29	数学 二次方程式	社会 日本史(近世・近代・現代)
	12	数学 二次方程式	国語 同音異義語の書き取り	30	数学 小テスト	社会 世界史
	13	数学 図形の面積	国語 同音異義語の書き取り	31	数学 図形の面積	社会 日本地理
	14	数学 図形の体積	国語 対義語・類義語の書き取り	32	数学 図形の体積	社会 世界地理
	15	数学 一次関数	国語 似形異字の書き取り	33	数学 小テスト	社会 思想・社会・文化
	16	数学 二次関数	国語 書き誤りやすい漢字	34	まとめ	
	17	数学 場合の数 み書き	国語 同音異音・異訓の読み書き	35	まとめ	
	18	数学 確率 と意味	国語 四字熟語の読み書き	36	まとめ	
成績割合	テスト	数学 60% 国語・社会 80%	学習FB方法	成績通知		
	学習態度・出席率	数学 40% 国語・社会 0%				
	レポート	確認テスト 数学 0% 国語・社会 20%	成績評価	S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール	<p>〃数学担当 最終学歴:岩手大学工学部。国内大手及び外資系機械メーカー勤務の後、理数系科目の講師を勤める。</p> <p>国語・社会担当 最終学歴:慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、英語・国語・社会の講師を勤める。〃</p>					

シラバス

科目名	総合講座 I		担当者名	飯塚 秋彦	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開 講 期	選択	授 業 時 間 数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	大学所定の科目について単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	科目間の相関関係に留意し、実社会が必要とする「総合力」を養う。				
授業概要	大学指定教材の要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、 大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	オリエンテーション	19	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	2	オリエンテーション	20	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	3	オリエンテーション	21	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	4	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	22	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	5	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	23	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	6	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	24	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	7	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	25	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	8	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	26	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	9	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	27	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	10	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	28	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	11	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	29	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	12	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	30	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	13	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	31	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	14	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	32	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	15	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	33	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役立つ雑談力、 経営の行動指針	
	16	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	34	まとめ	
	17	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	35	まとめ	
18	経営戦略、経営管理論、経営戦略 実践論、仕事に役 立つ雑談力、経営の行動指針	36	まとめ		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	後期 成績通知	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	大学通信教育指導歴35年				

シラバス

科目名	PC基礎		担当者名	千葉 輝子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期		授 業 時 間 数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	Word・Power Point・Excelを実務で役立つ機能を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:Word・PowerPointの基本操作及び効率の良い操作方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> Wordで効率良くビジネス文書を作成できるようになるだけでなく、社会人として恥ずかしくないよう、ビジネス文書及びメールが作成できるようになるスキルを身に付ける PowerPointで効率の良いプレゼン資料を作成できるようになるだけでなく、最近よく見られるA4用紙一枚に企画書やチラシを作成するスキルも身に付ける Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける 				
授 業 計 画 表	授業内容		授業内容		
	1	科目ガイダンス	19	表作成の基本	
	2	文字入力の基本 1	20	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	
	3	文字入力の基本 2	21	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	
	4	文字入力の基本 3	22	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	
	5	ビジネスメールのルール 1	23	Power Pointの基本操作及びスライドの作成方法(アウトライン)	
	6	ビジネスメールのルール 2	24	図形の挿入	
	7	ビジネスメール課題 1	25	図形の挿入	
	8	ビジネスメール課題 2	26	画像の編集および表の挿入	
	9	ビジネスメール課題 3	27	Power PointでA4用紙1枚にチラシを作成	
	10	ビジネス文書のルール	28	小テスト(Power Point 総合課題)	
	11	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	29	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)	
	12	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	30	表作成課題(四則演算/表の装飾)	
	13	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	31	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	14	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	32	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	15	インデント・タブの設定方法	33	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	16	復習課題	34	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	17	前期期末試験(Word課題)	35	後期期末試験(Excel課題)	
18	前期期末試験の解答解説及び後期振り返り	36	後期期末試験の解答解説及び後期振り返り		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点、A80~89、B70~79点、C60~69点、D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	アジュナン 奈緒美	
学科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	学科で身につけた専門性と個々のアイデアを活かしながらゼミとしてのグループワークでのモノづくりのプロセスを学ぶことを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:個々のアイデア出しとチームビルディング 後期:チームでのモノづくりを提案および実施				
授業概要	前期:与えられた課題に個々がアイデアを提案(頭を柔軟に) チームビルディングとして世界のモノづくりを探索 後期:具体的なテーマに対してグループ提案 実際に制作活動				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	テクノス祭振り返り(個人)	
	2	チームビルディング	20	テクノス祭振り返り(グループ)	
	3	チームビルディング	21	テクノス祭振り返り PPT作成	
	4	グループワーク	22	テクノス祭振り返り PPT作成	
	5	グループワーク	23	テクノス祭振り返り PPT作成	
	6	課題について	24	テクノス祭振り返り PPT作成	
	7	課題について	25	中間発表	
	8	課外活動	26	発表について	
	9	課外活動について	27	課題探求	
	10	課外活動について グループワーク	28	課題探求	
	11	テクノス祭について	29	課題探求	
	12	テクノス祭について	30	課題探求	
	13	テクノス祭について	31	最終発表準備	
	14	テクノス祭について	32	最終発表準備	
	15	テクノス祭について	33	最終発表準備	
	16	テクノス祭について	34	最終発表準備	
	17	テクノス祭について	35	最終発表	
	18	テクノス祭準備	36	まとめ	
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体感型学習>>10				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	アジュナン 奈緒美	
学科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必修	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	各種試験対策及び授業で役立つソフトの習得を目標とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イメージを人に伝える手段としてのパース、模型などと同様にPCでの基礎の表現方法を学ぶことで、プランニングからプレゼンテーションにまで広がりを持たせる。				
授業概要	書類の書き方、立体の作り方などを専用ソフトに入力しながら覚える。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	個人面接1	19	テクノス祭準備1	
	2	個人面接2	20	テクノス祭準備2	
	3	個人面接3	21	テクノス祭準備3	
	4	個人面接4	22	資格取得対策・指導1	
	5	就職活動の指導1	23	資格取得対策・指導2	
	6	就職活動の指導2	24	資格取得対策・指導3	
	7	就職活動の指導3	25	資格取得対策・指導4	
	8	就職活動の指導4	26	資格取得対策・指導5	
	9	就職活動の指導5	27	テクノス展準備1	
	10	就職活動の指導6	28	テクノス展準備2	
	11	就職活動の指導7	29	テクノス展準備3	
	12	就職活動の指導8	30	テクノス展準備4	
	13	就職活動の指導9	31	テクノス展準備5	
	14	就職活動の指導10	32	テクノス展準備6	
	15	SPI・適性検査1	33	資格取得対策・指導6	
	16	SPI・適性検査2	34	資格取得対策・指導7	
	17	SPI・適性検査3	35	資格取得対策・指導8	
	18	SPI・適性検査4	36	資格取得対策・指導9	
成績割合	テスト	0	学習FB方法	成績評価	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>50 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	アジュナン奈緒美 インテリアデザイン事務所にて勤務 一級建築士				

シラバス

科目名	ユニバーサルデザイン概論		担当者名	吉澤 千鶴子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	福祉住環境コーディネーター2級試験合格のための対策講座				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築やインテリアに関わる職種に必携の福祉住環境コーディネーター2級を在学中に取得することを目標に定めている。				
授業概要	東京商工会議所から発行されている公式テキストに沿って、内容を解説し、演習を繰り返しながら知識を定着させていく。単なる暗記ではなく、学生が「福祉住環境」のありかたを自ら考えることができるようになるような指導を心がける。居住学テキストの中にある福祉住環境に関する内容にもふれる。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備1 脳血管障害	
	2	高齢者・障害者とバリアフリーデザイン	20	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備2 廃用症候群	
	3	誰にも優しいユニバーサルデザイン	21	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備3 骨折	
	4	生活行為別の福祉住環境整備の手法1 外出①	22	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備4 認知症	
	5	生活行為別の福祉住環境整備の手法2 外出②	23	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備5 関節リウマチ	
	6	生活行為別の福祉住環境整備の手法3 屋内移動①	24	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備6 パーキンソン病	
	7	生活行為別の福祉住環境整備の手法4 屋内移動②	25	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備7 糖尿病	
	8	生活行為別の福祉住環境整備の手法5 排泄	26	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備8 心筋梗塞	
	9	生活行為別の福祉住環境整備の手法6 入浴	27	障害別にみた福祉住環境整備1 肢体不自由	
	10	生活行為別の福祉住環境整備の手法7 更衣	28	障害別にみた福祉住環境整備2 内部障害	
	11	生活行為別の福祉住環境整備の手法8 調理と食事	29	障害別にみた福祉住環境整備3 視覚障害	
	12	生活行為別の福祉住環境整備の手法9 団らん	30	障害別にみた福祉住環境整備4 聴覚・言語障害	
	13	生活行為別の福祉住環境整備の手法10 就寝	31	障害別にみた福祉住環境整備5 認知・行動障害	
	14	高齢者の心理機能と特性いろいろ	32	事例研究1	
	15	いろいろな高齢者の住まい	33	事例研究2	
	16	自立支援のための住居改善の必要性と支援体制	34	授業のまとめ1	
	17	自立支援のための住居改善のポイント	35	授業のまとめ2	
	18	高齢者・障害者とバリアフリーデザイン	36	授業のまとめ3	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	大学卒業後、建築設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰。住宅設計に携わりながら、工学系専門学校非常勤講師として設計の手法を指導。また大学の公開講座等で、2級建築士や福祉住環境コーディネーターなど建築系の資格取得支援を行う。教材作成、出版、通信講座の添削等も担当。				

シラバス

科目名	デザインワーク1		担当者名	宗像 重幸	
学科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位	3単位	開講期		授業時間数	108時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	○各自がデザインし制作した作品を実際に使用し、自身が掲げたテーマやコンセプトを確認する。 ○スケッチから完成までのデザインワークー連を体験する。 ○造形と構造、素材の関係性の考察。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	○基本的な三面図の理解と描き方の習得 ○素材の特性の理解 ○基礎的な工具や機械の扱い方、加工法の習得				
授業概要	年間を通してスツールのデザインと制作を行う。そのために前期後期で以下のような内容で授業を行う ○前期:制作にあたり必要な工具・道具類の使用法を習得し演習を行う。スツールをデザインするためにリサーチ、アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデルを制作し決定したデザインを元に最終的なモデルと原寸三面図を制作しプレゼンテーションする。 ○後期:機械の説明。木取り、切り出し、製材、組手・仕口加工、仕上げ、塗装等実作業				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション。手工具の説明。接手演習。	19	クロスカット 製材作業	
	2	手工具、機械の説明。接手演習。	20	製材作業 組手、仕口加工	
	3	手工具、機械の説明。接手演習。	21	製材作業 組手、仕口加工	
	4	手工具、機械の説明。接手演習。	22	製材作業 組手、仕口加工	
	5	スツール課題説明。リサーチ、アイデアスケッチ三面図解説。三面図演習。	23	製材作業 組手、仕口加工	
	6	リサーチ、アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル 三面図解説。三面図演習。	24	組手、仕口加工	
	7	リサーチ、アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル 三面図解説。三面図演習。	25	組手、仕口加工	
	8	アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル 三面図解説。三面図演習。	26	組手、仕口加工 外形切り出し	
	9	アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル	27	組手、仕口加工 外形切り出し	
	10	アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル	28	組手、仕口加工 外形切り出し、表面加工 接着 塗装	
	11	アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル、原寸図	29	組手、仕口加工 外形切り出し、表面加工 接着 塗装	
	12	モデル、原寸図作成	30	組手、仕口加工 外形切り出し、表面加工 接着 塗装	
	13	モデル、原寸図作成	31	組手、仕口加工 外形切り出し、表面加工 接着	
	14	モデル、原寸図作成	32	組手、仕口加工 外形切り出し、表面加工 接着	
	15	1/5モデル、原寸図提出	33	組手、仕口加工 外形切り出し、表面加工 接着	
	16	機械、工具説明。木取り作業。クロスカット 製材作業	34	木地調整 塗装	
	17	機械、工具説明。木取り作業。クロスカット 製材作業	35	木地調整 塗装	
18	機械、工具説明。木取り作業。クロスカット 製材作業	36	プレゼンテーション		
成績割合	テスト		%	学習FB方法	成績評価
	学習態度・出席率		40%		
	レポート		40%		
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>50 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	木工工房主宰。注文家具の制作を中心に作家活動。				

シラバス

科目名	インテリアコーディネーター演習1		担当者名	竹内 美知子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	演習	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	○「インテリアコーディネートの基本」や「インテリアスタイル」を学び、トータルコーディネートが円滑にできるようにする。 ○インテリアコーディネーター資格取得を目指す。				
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	○トータルコーディネートが実践できるようにする。 ○インテリアコーディネーター資格取得のため、小テストや過去問を用いて合格ラインを目指す。				
授業概要	○インテリアイメージ確立のためのスタイル分類を学ぶ。 ○資格取得のための講義とそれに対する小テストや過去問による知識の確認をする。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	4.エレメント選択	
	2	※インテリアコーディネートの基本 ①	20	a.モダン・カジュアル ①	
	3	※インテリアコーディネートの基本 ②	21	a.モダン・カジュアル ②	
	4	<ウインドウトリートメント> 1.ウインドウトリートメントの機能と種類	22	a.モダン・カジュアル ③	
	5	2.カーテンスタイル ①	23	b.クラシック・エレガント ①	
	6	カーテンスタイル ②	24	b.クラシック・エレガント ②	
	7	3.織物の種類 ①	25	b.クラシック・エレガント ③	
	8	織物の種類 ②	26	5.各ボード作成 ①	
	9	4.カーテン生地加工と染色	27	各ボード作成 ②	
	10	5.カーテンの採寸・施工 他 ①	28	各ボード作成 ③ → 提出	
	11	カーテンの採寸・施工 他 ②	29	<IC資格試験対策> 1.ガラス製品の種類と特徴 他 ①	
	12	6.カーテンプランニングの注意点	30	ガラス製品の種類と特徴 他 ② 小テスト・過去問演習	
	13	<課題> スタイル分類 課題説明	31	2.塗料・塗装の種類と特徴 他 ①	
	14	1.インテリアスタイルの種類について	32	塗料・塗装の種類・特徴 他 ② 小テスト・過去問演習	
	15	2.イメージスケールの確認	33	後期期末試験	
	16	3.ボードの作り方 他	34	解答・解説 まとめ	
	17	前期期末試験	35	まとめ・確認テスト ①	
18	解答・解説 まとめ	36	まとめ・確認テスト ②		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	長年インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	一般構造		担当者名	生平 信雄	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造を中心に、構造の原理や骨組みの構成について学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	木構造については、内外の仕上げの構造についても学ぶ。さらに、建築構造に関する基礎的なことばについては、十分に理解度出来ることを目標とする。				
授業概要	一般構造で学ぶ用語や知識は、インテリアコーディネーターを目指すうえで設計、施工など他の科目の基本となるものである。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	建築構造の概要 構造の分類と形	19	RC構造の原理と特徴1 構造形式	
	2	建物に作用する力1	20	RC構造の原理と特徴2 基礎の構造	
	3	建物に作用する力2	21	RC構造の原理と特徴3 構造計画の概要 柱の構造と配筋	
	4	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築1	22	RC構造の原理と特徴4 はりの構造と配筋	
	5	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築2	23	RC構造の原理と特徴5 スラブおよび壁の構造と配筋	
	6	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築3	24	RC構造の原理と特徴6 RC構造演習	
	7	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築4	25	鉄骨構造の原理と特徴1 構造形式	
	8	木構造の特徴と種類1 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口	26	鉄骨構造の原理と特徴2 接合方法	
	9	木構造の特徴と種類2 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	27	鉄骨構造の原理と特徴3 高力ボルト接合 溶接	
	10	木構造の特徴と種類3 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	28	鉄骨構造の原理と特徴4 はり、柱の構造	
	11	木構造の特徴と種類4 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	29	鉄骨構造の原理と特徴5 柱脚、基礎	
	12	木構造の特徴と種類 耐震設計の基礎1	30	鉄骨構造の原理と特徴6 耐火被覆	
	13	木構造の特徴と種類 耐震設計の基礎2	31	鉄骨構造の原理と特徴7 構造形式	
	14	2x4の概要1 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	32	鉄骨構造の原理と特徴8 接合方法	
	15	2x4の概要2 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	33	鉄骨構造の原理と特徴9 高力ボルト接合	
	16	2x4の概要3 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	34	鉄骨構造の原理と特徴10 溶接	
	17	木造の内壁、天井、床の構造1 下地と仕上げの構造 書院、床の間の構造	35	その他の構造1 鉄骨鉄筋コンクリート構造	
18	木造の内壁、天井、床の構造2 下地と仕上げの構造 書院、床の間の構造	36	その他の構造2 コンクリートブロック造		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	出席率80% S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>50 A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	建築系実務と高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士 インテリアコーディネーター				

シラバス

科目名	居住学		担当者名	吉澤 千鶴子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	変化する社会環境の中で、ともに変化する日常の暮らしを通して、これからの住宅のありかたを考える力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	住宅(住まい)は生活行為の集まりで成り立っていて、その生活は環境によって大きく変化すること体系的に理解する。				
授業概要	「私たちの住居学」というテキストに沿って、「サステナブル社会」「バリアフリーデザイン」「ユニバーサルデザイン」「ノーマラゼーション」などをキーワードに住まいと暮らしを学ぶ。 自らの暮らしを通して思考する課題に取り組む機会も設ける。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	住まいの維持管理①	
	2	サステナブル社会の住まい①	20	住まいの維持管理②	
	3	サステナブル社会の住まい②	21	住まいの維持管理③	
	4	サステナブル社会の住まい③	22	住まいの維持管理④	
	5	サステナブル社会の住まい④	23	住生活のための人間工学①	
	6	住まいを取り巻く環境①	24	住生活のための人間工学②	
	7	住まいを取り巻く環境②	25	住生活のための人間工学③	
	8	住まいを取り巻く環境③	26	住生活のための人間工学④	
	9	住まいを取り巻く環境④	27	住まいに必要な環境調整①	
	10	住まいを取り巻く環境⑤	28	住まいに必要な環境調整②	
	11	住まいを取り巻く環境⑥	29	住まいに必要な環境調整③	
	12	住生活のあり方とその変遷①	30	住まいに必要な環境調整④	
	13	住生活のあり方とその変遷②	31	子育て家族の住まい、シングルの住まい①	
	14	住生活のあり方とその変遷③	32	子育て家族の住まい、シングルの住まい②	
	15	住生活のあり方とその変遷④	33	子育て家族の住まい、シングルの住まい③	
	16	住生活のあり方とその変遷⑤	34	子育て家族の住まい、シングルの住まい④	
	17	住生活のあり方とその変遷⑥	35	まとめ1	
	18	前期のまとめ	36	まとめ2	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	25%			
	レポート	25%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>70% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習> G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	大学卒業後、建築設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰。 住宅設計に携わりながら、工学系専門学校非常勤講師として設計の手法を指導。また大学の公開講座等で、2級建築士や福祉住環境コーディネーターなど建築系の資格取得支援を行う。教材作成、出版、通信講座の添削等も担当。				

シラバス

科目名	色彩学1		担当者名	古川 依子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	色彩検定3級合格を目指し色彩学の基礎を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	色彩検定3級のテキストで色彩の各分野の基礎を学び、検定合格を目指す。色彩検定に合格するという具体的な目標を掲げることで、インテリアに必要な色彩に関する知識習得も意欲的に取り組む事ができる。				
授業概要	色彩検定3級、後期中からは2級の学習を座学形式で行う。また、配色カードを使った配色演習や検定試験対策の補助教材としてポイントチェック問題、過去問集などを使用し基礎から確実に理解できるように導く。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業概要・色彩検定について 色のはたらき・光と色	19	ファッション・インテリア	
	2	光と色1(色はなぜ見えるのか?)	20	慣用色名・復習(PCCS・心理)	
	3	光と色2(眼の仕組み・照明と色の見え方)	21	過去問テスト 1	
	4	光と色3(照明と色の見え方・混色・まとめ)	22	過去問テスト 2	
	5	色の表示1(色の分類と三属性)	23	過去問テスト 3	
	6	色の表示2(PCCS 1)	24	過去問テスト 4	
	7	色の表示3(PCCS 2)	25	検定試験の解説・検定試験2級についての説明	
	8	色彩心理1(色の心理効果)	26	色のユニバーサルデザイン	
	9	色彩心理2(色の視覚効果)	27	光と色 1	
	10	まとめ・中間試験	28	光と色 2	
	11	中間試験解説・色彩調和1(色相を手がかりにした配色)	29	マンセル表色系 1	
	12	色彩調和2(色相を手がかりにした配色・トーンを手がかりにした配色)	30	マンセル表色系 2	
	13	色彩調和3(トーンを手がかりにした配色・色相とトーンを組み合わせさせた配色)	31	色彩心理・復習	
	14	色彩調和4(配色の基本的な技法)	32	色彩調和 1	
	15	前半のまとめ・復習1	33	色彩調和2	
	16	前半のまとめ・復習2	34	マンセル表色系・色彩調和の復習、まとめ1	
	17	学期末試験	35	マンセル表色系・色彩調和の復習、まとめ2	
18	学期末試験解説	36	マンセル表色系・色彩調和の復習、まとめ3		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	10%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>50%				
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上				

シラバス

科目名	CAD演習1		担当者名	アジュナン 奈緒美、高井 英光	
学科	インテリアデザイン科		授業方法	演習	
認定単位	3単位	開講期		授業時間数	108時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	建築設計、コンピューターによる模型作成の基礎を学ぶ。 初歩的な設計演習を通して、3Dソフトを使い、基礎的な立体模型を作成する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	基礎的な立体模型を作成するソフトウェアの使い方を習得する。				
授業概要	課題を行うことは前提だが、こなすだけではなく、自分がどの建物もどの部分を書いているか、建築名称や用途などを理解させながら書かせていきたい。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション	19	スケッチアップの概要	
	2	簡単な形の作成1	20	基本操作－ボリュームの作成	
	3	構造フレームの作成1	21	基本操作－移動と回転	
	4	構造フレームの作成2	22	基本操作－テキスト操作	
	5	ライン、平面、ボリュームの演習(傾斜した屋根をもつ構造体の作成1)	23	基本操作－外部データの取り込み	
	6	ライン、平面、ボリュームの演習(傾斜した屋根をもつ構造体の作成2)	24	基本操作－簡単な形の作成	
	7	簡単な形をテーブルに変形1	25	室内の作成1	
	8	簡単な形をテーブルに変形2	26	室内の作成2	
	9	材料、カラー、照明、設定の視点の演習(バビリオンの作成)1	27	室内の作成3	
	10	材料、カラー、照明、設定の視点の演習(バビリオンの作成)2	28	照明の作成方法	
	11	ブーリアンの演習	29	室内店舗の作成1	
	12	変形の演習(いろいろなサイズの窓を作りビルの壁面の開口部に設置)1	30	室内店舗の作成2	
	13	変形の演習(いろいろなサイズの窓を作りビルの壁面の開口部に設置)2	31	室内店舗の作成3	
	14	回転、スウィープの演習(タワーの作成)1	32	室内店舗の作成4	
	15	回転、スウィープの演習(タワーの作成)2	33	室内店舗の作成5	
	16	曲面の演習(曲面をもった屋根構造の作成)	34	自己設計課題	
	17	曲面、メッシュを駆使して有機的な屋根を制作	35	自己設計課題	
	18	ファイル形式の変換(Dxf,Dwg)の演習(VW AutoCADで作った図面を利用してファサードを作成)	36	発表会	
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	課題の完成度、出席、授業態度等を総合的に勘案して決定する。 前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	80%	成績評価	出席率80%以上:S90~100点、A80~89、B70~79点、C60~69点、D59以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	・アジュナン 奈緒美 一級建築士 ・高井 英光 一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了 全日本建築士会 一級建築士講座講師				

シラバス

科目名	インテリアエレメント1		担当者名	竹内 美知子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	各エレメントの基本的な用語や基礎知識を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各エレメントについて学習し、住空間のトータルコーディネーションが適切に行えるようにする。				
授業概要	講義が中心となり、わかりにくい単元ではDVDを用いて映像により理解を深める。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	2.壁・天井材の種類と特徴 ①	
	2	<家具> 1.生活と家具について	20	壁・天井材の種類と特徴 ②	
	3	2.家具の分類や機能について	21	壁・天井材の種類と特徴 ③	
	4	3.家具の選択要件 他 ①	22	3.内装材の施工について ①	
	5	家具の選択要件 他 ②	23	内装材の施工について ②	
	6	4.有名デザイナーの椅子 他	24	<建具金物> 1.ドア製品の種類	
	7	5.椅子の構造 他 ①	25	2.和建具の種類・特徴 他 ①	
	8	椅子の構造 他 ②	26	和建具の種類・特徴 他 ②	
	9	6. ベッドの名称・構造 他 ①	27	3.洋建具の種類・特徴 他 ①	
	10	ベッドの名称・構造 他 ②	28	洋建具の種類・特徴 他 ②	
	11	7.家具金物 他	29	4.建具金物の種類・特徴 他 ①	
	12	8.家具の素材・塗装 他 ①	30	建具金物の種類・特徴 他 ②	
	13	家具の素材・塗装 他 ②	31	5.窓製品の種類・特徴 他 ①	
	14	<内装材> 1.各床材の種類と特徴 ①	32	窓製品の種類・特徴 他 ②	
	15	各床材の種類と特徴 ②	33	後期期末試験	
	16	各床材の種類と特徴 ③	34	解答・解説 まとめ	
	17	前期期末試験	35	まとめ・確認テスト ①	
18	解答・解説 まとめ	36	まとめ・確認テスト ②		
成績割合	テスト	85%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	5%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	長年インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	空間デザイン1		担当者名	竹内 美知子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位	3単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	108時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	「快適で暮らしよい住生活」を提案できるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	居室や水回りスペースの機能や用途を学習し、住空間全体におけるスペース取りや、動線計画、適切なインテリア計画ができるように基本を学ぶ。				
授業概要	講義で学習したインテリアコーディネーションの知識を演習や課題を通して確立させる。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	キッチンルームの基本①	
	2	日本と欧米のインテリアについて	20	キッチンルームの基本②	
	3	住空間の構成について	21	ユーティリティー、サニタリーの基本	
	4	ベッドルームの基本①	22	課題 <ワンルーム計画> 1. 課題説明	
	5	ベッドルームの基本②	23	2. クライアント分析①	
	6	<演習> 配置計画 他	24	クライアント分析② →決定	
	7	リビングルームの基本①	25	4. プランコンセプト作成	
	8	リビングルームの基本②	26	5. 平面プラン作成	
	9	<演習> 配置計画 他	27	6. 各エレメント選択①	
	10	ダイニングルームの基本①	28	各エレメント選択②	
	11	ダイニングルームの基本②	29	7. 平面図・パース作成①	
	12	<演習> 配置計画 他	30	平面図・パース作成②	
	13	子供部屋の基本的な考え方①	31	8. ボード作成①	
	14	子供部屋の基本的な考え方②	32	ボード作成②	
	15	玄関・廊下の基本①	33	ボード作成③ → 提出	
	16	玄関・廊下の基本②	34	課題 プレゼンテーション	
	17	前期期末試験	35	後期期末試験	
18	解答・解説 まとめ	36	解答・解説 まとめ		
成績割合	テスト	課題70%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90～100点、A80～89、B70～79点、C60～69点、 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	20%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	長年インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	インテリアデザイン演習		担当者名	古川 依子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	演習	
認定単位	1.5単位	開講期	後期	授業時間数	54時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	インテリアの基礎知識及び、ビジュアルでの提案技術の習得。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	インテリアの基礎知識を学び、課題を通して適切なインテリアコーディネートをビジュアル的な方法で提案できる。				
授業概要	インテリアスタイル、配色、インテリアエレメントなどについての基礎知識の学習、図法としてアイソメの練習、ワンルームマンションのインテリアコーディネートを考えてアイソメ等で表現する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	講義概要他 インテリアの基礎知識1(インテリアスタイル)	19		
	2	インテリアの基礎知識2(色彩)	20		
	3	インテリアの基礎知識3(インテリアエレメント①-素材)	21		
	4	インテリアの基礎知識4(インテリアエレメント②-家具・WT)	22		
	5	インテリアの基礎知識5(インテリアエレメント③-照明・表現技法)	23		
	6	アイソメの練習1(平面図のレイアウトからアイソメに立ち上げる・家具の寸法)	24		
	7	アイソメの練習2(平面図のレイアウトからアイソメに立ち上げる・家具の寸法)	25		
	8	アイソメの練習3(平面図のレイアウトからアイソメに立ち上げる・家具の寸法)	26		
	9	アイソメの練習4(家具)	27		
	10	アイソメの練習5(家具・窓装飾・照明)	28		
	11	アイソメの練習6(窓装飾・照明)	29		
	12	演習課題 一人暮らしのインテリアコーディネート1	30		
	13	演習課題 一人暮らしのインテリアコーディネート2	31		
	14	演習課題 一人暮らしのインテリアコーディネート3	32		
	15	演習課題 一人暮らしのインテリアコーディネート4	33		
	16	演習課題 一人暮らしのインテリアコーディネート5	34		
	17	演習課題 一人暮らしのインテリアコーディネート6 小テスト	35		
18	演習課題 一人暮らしのインテリアコーディネート7 プレゼンテーション	36			
成績割合	テスト	20%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	60%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>70% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>50%				
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上				

シラバス

科目名	インテリアデザイン史		担当者名	古川 依子	
学科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	前期	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	日本と西洋の建築・インテリアの歴史を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本と西洋の建築史、近代の建築やインテリアの歴史を、広い視野で通観し、日本建築の良さや他国の独自性の理解を深める。 建築士、インテリアコーディネーター資格試験に必要な歴史分野の基礎知識を習得する。				
授業概要	日本建築史、西洋建築史、近代建築史について、テキスト「建築と都市の歴史」、チームス内の資料、まとめプリント、などを使用し、ハイブリッド形式で授業を行う。 パワーポイントを用い、具体的な理解を深めるため、図や写真を効果的に取り入れる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	講義概要 日本建築史1(和風について・原始の建築と神社)	19		
	2	日本建築史2(仏教建築の渡来・和様の誕生)	20		
	3	日本建築史3(様式の発生と融合・中世の住宅)	21		
	4	日本建築史4(書院造と武士住宅・茶室と数寄屋)	22		
	5	日本建築史5(町家と農家他・江戸時代の寺社境内)	23		
	6	中間試験(日本建築史)・西洋建築史Ⅱ(ヨーロッパ建築の曙)	24		
	7	西洋建築史1(古代ギリシ古代古代ローマ)	25		
	8	西洋建築史2(教会建築の誕生・ビザンツ、イスラーム、ロマネスク)	26		
	9	西洋建築史3(ゴシックと中世都市・ルネサンスへ)	27		
	10	西洋建築史4(古典主義の興隆・バロックの展開)	28		
	11	西洋建築史5(フランスのバロック・古典主義の成熟)	29		
	12	西洋建築史6/近代建築史1(市民革命、市民の台頭・産業革命と博覧会)	30		
	13	近代建築史2(日本の近代化・様式建築の受容・新構造の導入)	31		
	14	近代建築史3(住宅の変化・建築の戦中戦後・日本の建築家)	32		
	15	近代建築史4(西洋のデザイン運動)	33		
	16	近代建築史5(モダニズム・現代の建築)	34		
	17	学期末試験(西洋建築史・近代建築史)	35		
18	学期末試験解説(西洋建築史・近代建築史)	36			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>60%				
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上				

シラバス

科目名	設計製図1		担当者名	アジュナン 奈緒美	
学科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位	3単位	開講期	必選	授業時間数	108時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	設計の基本となる製図を基礎から学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	最小限果さなければならない条件や、通常的设计製図を行うプロセスを知り、木造、RC造など各種構造体の建物のトレースや詳細図を書くことで、実際の製図に対する理解を深める。実際の設計に必要なエスキスの進め方、考え方を、製図作業内に組み込むことで、描きながらその過程を学ぶ。				
授業概要	製図の基礎は、建築計画や設計製図の他の課題にも通じる。前期の基礎製図は建築同様に建物全体に重点を置き製図を進める。後期設計製図1においてはインテリアを中心に課題を進める。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	製図の基礎	19	インテリア 設計課題 1-1	
	2	線の練習	20	インテリア 設計課題 1-2	
	3	木造住宅の図面 1 配置図 平面図	21	インテリア 設計課題 1-3	
	4	木造住宅の図面 2 配置図 平面図	22	インテリア 設計課題 1-4	
	5	木造住宅の図面 3 配置図 平面図	23	インテリア 設計課題 1-5	
	6	木造住宅の図面 4 配置図 平面図	24	インテリア 設計課題 1-6	
	7	木造住宅の図面 5 断面図	25	インテリア 設計課題 1-7	
	8	木造住宅の図面 6 断面図	26	インテリア 設計課題 2-1	
	9	木造住宅の図面 7 立面図	27	インテリア 設計課題 2-2	
	10	インテリア 家具レイアウト図1	28	インテリア 設計課題 2-3	
	11	インテリア 家具レイアウト図2	29	インテリア 設計課題 2-4	
	12	インテリア 家具レイアウト図3	30	インテリア 設計課題 2-5	
	13	インテリア 家具レイアウト図4	31	インテリア 設計課題 2-6	
	14	インテリア パース1	32	インテリア 設計課題 2-7	
	15	インテリア パース2	33	ポートフォリオ準備	
	16	インテリア パース3	34	ポートフォリオ準備	
	17	インテリア パース4	35	ポートフォリオ作成	
18	インテリア パース5	36	ポートフォリオ作成		
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	インテリアデザイン事務所勤務 一級建築士				

シラバス

科目名	基礎デザイン		担当者名	成田 健志	
学科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位	3単位	開講期		授業時間数	108時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	空間の基礎デザインを模型や実物の作品制作を通して学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	空間を最大限利用する方法を考え、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。				
授業概要	建築のデザインが2次元(スケッチや図面)と3次元(模型、実物の空間)を行き来する作業の中から出来上がっていくプロセス・方法を作品制作を通して学ぶ。3mの立方体の空間を1/10スケールの模型で制作し、空間を最大限利用する方法を考え、かたちにする。「ランプシェード」では、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション	
	2	オリエンテーション	20	オリエンテーション	
	3	オリエンテーション	21	オリエンテーション	
	4	紙と鉛筆によるスケッチ、模型製作の基礎	22	フリーハンドスケッチと平行図法	
	5	スチレンボードによる模型制作(空間模型)	23	平行図法と1点透視図法	
	6	スチレンボードによる模型制作(空間デザイン)	24	1点透視図法と2点透視図法	
	7	スケッチパース、空間のデザイン	25	空間のデザイン1(店舗デザイン)	
	8	グリッドパース、空間のデザイン	26	空間のデザイン2(アイソメ、1点パース)	
	9	木材による模型制作(椅子の模型)	27	空間のデザイン3(2点パース)	
	10	模型による空間構成(立体で考える)	28	建築のデザイン1「公園の休憩所」	
	11	模型による空間構成(コンセプトを考える)	29	建築のデザイン2(模型制作)	
	12	模型による空間構成(素材を考える)	30	建築のデザイン3(模型制作)	
	13	模型による空間構成(仕上げ)	31	中間プレゼンテーション(模型及びコンセプト)	
	14	模型による空間構成(写真撮影)	32	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)	
	15	作品をスケッチパースとして描く	33	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)	
	16	光る立体(ランプシェード)エスキス、紙による立体演習	34	空間のデザイン1「通路空間」	
	17	光る立体(ランプシェード)制作、パターンによる構成演習	35	建築のデザイン2(模型制作)	
18	作品撮影、プレゼンテーションボード作成(空間デザイン・ランプシェード)	36	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)		
成績割合	テスト	60(作品評価)	学習FB方法		
	学習態度・出席率	40%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	美術大学で建築を学びました。設計事務所勤務時に美術館・博物館などを担当しました。その後、集合住宅やオフィスなどのデザイン協力や、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加しました。住宅・別荘の設計や、室内・外部空間のデザインなどを行っています。				

シラバス

科目名	PC基礎演習1		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 36時間
授業目的	Word・Power Point・Excelを実務で役立つ機能を身に付ける			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:Word・PowerPointの基本操作及び効率の良い操作方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> Wordで効率良くビジネス文書を作成できるようになるだけでなく、社会人として恥ずかしくないよう、ビジネス文書及びメールが作成できるようになるスキルを身に付ける PowerPointで効率の良いプレゼン資料を作成できるようになるだけでなく、最近よく見られるA4用紙一枚に企画書やチラシを作成するスキルも身に付ける Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける 			
授業 計画 表		授業内容		授業内容
	1	ガイダンス	19	ビジネスメールのルール
	2	ガイダンス	20	Power Pointの基本操作及びスライドの作成方法(アウトライン)
	3	ガイダンス	21	図形の挿入
	4	科目ガイダンス	22	図形の挿入
	5	文字入力の基本 1	23	画像の編集および表の挿入
	6	文字入力の基本 2	24	Power PointでA4用紙1枚にチラシを作成
	7	ビジネス文書のルール	25	小テスト(Power Point 総合課題)
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	表作成課題(四則演算/表の装飾)
	10	インデント・タブの設定方法	28	表作成課題(相対参照と絶対参照)
	11	表作成の基本	29	課題(計算、表の装飾、グラフ)
	12	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	30	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)
	13	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	31	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)
	14	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	32	後期期末試験(Excel課題)
	15	Word 総合問題 1	33	後期期末試験の解答解説及び後期振り返り
	16	Word 総合問題 2	34	ガイダンス
	17	前期期末試験(Word課題)	35	ガイダンス
18	前期期末試験の解答解説及び後期振り返り	36	ガイダンス	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	学習態度・出席率	30%		
	レポート		成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。			

シラバス

科目名	積算概論		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 36時間
授業目的	建築およびインテリア業界における積算業務の考え方を学ぶ。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築数量積算基準にもとづく土工、躯体、仕上げの数量を、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造の設計例を用いて学ぶ。			
授業概要	「積算概論」では、工事費の構成、積算に必要な用語、数量積算の計算の仕方や資料の収集分析の基礎的な手法を習得し、建築生産における計画、設計、施工の各過程での費用予測・分析法を学ぶ。			
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容
	1	オリエンテーション	19	
	2	積算の目的、積算と見積	20	
	3	積算業務の分類、積算の種類	21	
	4	積算の作業工程、積算の要点	22	
	5	建築数量、単位の原則	23	
	6	部分別積算1 土工事、地業工事	24	
	7	部分別積算2 基礎のコンクリート工事	25	
	8	部分別積算3 基礎の型枠	26	
	9	部分別積算4 平屋建てのコンクリート量	27	
	10	部分別積算5 平屋建ての型枠量	28	
	11	部分別積算6 基礎の鉄筋量	29	
	12	部分別積算7 はりの鉄筋量	30	
	13	部分別積算8 柱の鉄筋量	31	
	14	部分別積算9 壁の積算	32	
	15	部分別積算10 スラブの積算	33	
	16	総合計算1	34	
	17	総合計算2	35	
18	確認テスト・まとめ	36		
成 績 割 合	テスト	30%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	40%	成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%			
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了 全日本建築士会 1級建築士講座講師			

シラバス

科目名	ファイナルデザインワーク		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 72時間
授業目的	○デザインした作品を実際に制作し使用することによって、掲げたテーマやコンセプトを体感し確認する。 ○スケッチから完成までのデザインワーク一連を体験する。 ○造形と構造、素材の関係性の考察。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	○基本的な三面図の理解と描き方の習得 ○素材の特性の理解 ○基礎的な工具や機械の扱い方、加工法の習得			
授業概要	年間を通じてフォールディング機構を持つアイテムのデザインと制作を行う。 その準備として前期授業で以下の内容を行う ○フォールディングの調査を行いデザイン制作していく作品の方向性を模索する。 ○テーマやコンセプトを元にスケッチ、モデル、図面で繰り返し検討しアイデアを詰めていき最終プランを決定する。 ○前期最終日にプレゼンテーションを行う。原寸図面とモデルは提出。			
授業計画表		授業内容		授業内容
	1	機械、工具説明 木取り作業	19	
	2	機械、工具説明 木取り作業	20	
	3	木取り作業 製材作業	21	
	4	製材作業	22	
	5	製材作業 組手、仕口加工	23	
	6	製材作業 組手、仕口加工	24	
	7	製材作業 仕口、組手加工	25	
	8	製材作業 仕口、組手加工	26	
	9	仕口、組手加工	27	
	10	仕口、組手加工 外形切り出し 表面加工	28	
	11	仕口、組手加工 外形切り出し 表面加工	29	
	12	仕口、組手加工 外形切り出し 表面加工	30	
	13	仕口、組手加工 外形切り出し 表面加工	31	
	14	仕口、組手加工 外形切り出し 表面加工	32	
	15	プレゼンテーション モデル、図面提出	33	
	16		34	
	17		35	
18		36		
成績割合	テスト		%	学習FB方法
	学習態度・出席率		40%	
	レポート		60%	成績評価
	合計		100%	
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>40 G<<海外体感型学習>>0			
講師プロフィール	木工工房主宰。注文家具制作を中心に作家活動。			

シラバス

科目名	デザインワーク2		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 72時間
授業目的	○デザインした作品を実際に制作し使用することによって、掲げたテーマやコンセプトを体感し確認する。 ○スケッチから完成までのデザインワーク一連を体験する。 ○造形と構造、素材の関係性の考察。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	○基本的な三面図の理解と描き方の習得 ○素材の特性の理解 ○基礎的な工具や機械の扱い方、加工法の習得			
授業概要	「たためるかたち」と称し、フォールディングチェアや折りたたみ式のテーブルなど、たためる家具のデザインと制作を行う。 その準備として前期授業で以下の内容を行う ○フォールディングの機構を持つアイテムの調査を行い、デザインと制作をしていく作品の方向性を模索する。 ○テーマやコンセプトを元にスケッチ、モデル、図面で繰り返し検討しアイデアを詰めていき最終プランを決定する。 ○前期最終日にはプレゼンテーションを行う。原寸図面とモデルは提出。			
授業 計画 表	授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション リサーチ アイデアスケッチ	19	
	2	リサーチ アイデアスケッチ	20	
	3	リサーチ アイデアスケッチ モデル作成	21	
	4	リサーチ アイデアスケッチ モデル作成	22	
	5	リサーチ アイデアスケッチ モデル作成	23	
	6	リサーチ アイデアスケッチ モデル作成	24	
	7	中間発表	25	
	8	アイデアスケッチ モデル作成	26	
	9	アイデアスケッチ モデル作成 原寸図作成	27	
	10	モデル作成 原寸図作成	28	
	11	モデル作成 原寸図作成 プレゼンボード作成	29	
	12	モデル作成 原寸図作成 プレゼンボード作成	30	
	13	モデル作成 原寸図作成 プレゼンボード作成	31	
	14	モデル作成 原寸図作成 プレゼンボード作成	32	
	15	プレゼンテーション モデル、図面提出	33	
	16		34	
	17		35	
18		36		
成績割合	テスト		%	学習FB方法
	学習態度・出席率		40%	
	レポート		60%	成績評価
	合計		100%	
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>40 G<<海外体感型学習>>0			
講師プロフィール	木工工房主宰。注文家具制作を中心に作家活動。			

シラバス

科目名	色彩学2		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 36時間
授業目的	色彩検定2級の合格。色彩知識の応用として演習を行い、色彩感覚を養う。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	色彩検定2級のテキストでよりレベルアップした、あらゆる媒体における色彩の基礎的内容を学習し検定合格を目指す。			
授業概要	色彩検定2級対策の授業(ビジュアルデザイン、ファッション、インテリア、景観色彩など)を座学で行なう。過去問演習を繰り返し行い、実力と自信を付ける。検定試験後は、今まで学習したこと的应用編としての演習を行い実践を通して色彩感覚を身につける。			
授業 計画 表		授業内容		授業内容
	1	授業スケジュールと検定試験について・復習・配色イメージ・ビジュアル	19	
	2	ビジュアル・ファッション	20	
	3	インテリア・景観色彩	21	
	4	慣用色名・復習・まとめ(後半演習問題)	22	
	5	復習+問題(過去問抜粋)	23	
	6	過去問演習1・ポイント解説・各自チェック問題	24	
	7	過去問演習2・ポイント解説・各自チェック問題	25	
	8	過去問演習3・ポイント解説・各自チェック問題	26	
	9	過去問演習4・ポイント解説 (中間試験)	27	
	10	検定試験2級 解説 他	28	
	11	実習課題1 流行色	29	
	12	実習課題1 色彩分析①	30	
	13	実習課題2 色彩分②	31	
	14	実習課題3 配色によるイメージ表①	32	
	15	実習課題3 配色によるイメージ表②	33	
	16	実習課題4 色彩構①	34	
	17	実習課題4 色彩構②	35	
18	実習課題 講評	36		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	学習態度・出席率	20%		
	レポート	20%	成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>60% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>50%			
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上			

シラバス

科目名	CAD演習2		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	演習
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 108時間
授業目的	CADソフトの2D作図に於ける基本操作とCADによる設計製図の考え方及び進め方の習得を目的とする。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築設計製図における基本項目(グリッド、規格寸法等)とCAD作図の基本ルール(レイヤー構成等)を理解し、設計実務を見据えたCAD操作技能の獲得を達成目標とする。 CAD使用は前期にVector Worksによる作図演習を行い、後期にAutoCADでの演習を行う。			
授業概要	木造の建築製図を中心にCADによる設計手法と設計図書作成の基礎(ルール)を学ぶ。 設計図書の読み方や表現方法、作図及びCAD操作の注意点等を授業テーマの実践によって行い作業状況と理解度の確認を行う。			
授業計画表	授業内容			授業内容
	1	CADによる設計手法について	19	CADによる設計手法について
	2	Vector Works 基本コマンド及び画面操作方法の説明、画層管理と図面編集について	20	Auto CAD 基本コマンド及び画面操作方法の説明、画層管理と図面編集について
	3	基本操作実習	21	基本操作実習
	4	基本操作実習(Logo作成)	22	基本コマンド使用による家具図の作成
	5	基本コマンド使用による家具図の作成	23	平面図作成(6帖、8帖、10帖)
	6	平面図作成(基準線・通り芯の考え方)	24	平面図作成(扉・窓等の描き方)
	7	平面図作成(躯体作図方法解説)	25	設計演習1 プランエスキース(6帖ワンルーム程度)
	8	平面図作成(扉・窓等の描き方)	26	設計演習2 エスキースを元に平面図作成
	9	平面図作成(設備機器・什器備品の配置)	27	設計演習3 階段の描き方の説明(平面・断面)
	10	平面図作成(室名、仕上げ等の文字情報の記入)	28	設計演習4 2階建て建物の平面図作成
	11	平面図作成(寸法の入力方法解説)	29	設計演習5 2階建て建物の平面図作成
	12	平面図作成(ハッチング、色付等の考え方)	30	設計演習6 2階建て建物の断面図作成
	13	設計演習1 平屋の建物の平面図作成	31	設計演習7 2階建て建物の断面図作成
	14	設計演習2 平屋の建物の平面図作成	32	設計演習8 2階建て建物の立面図作成
	15	設計演習3 平屋の建物の断面図作成	33	設計演習9 特殊形状の考え方及び作図方法
	16	設計演習4 平屋の建物の断面図作成	34	設計演習10 詳細図の考え方、描き方の説明
	17	設計演習5 平屋の建物の立面図作成	35	設計演習12 詳細図の考え方、描き方の説明
	18	設計演習6 データ互換(DXF)、データ共有の説明	36	設計演習13 データ互換(DXF)、データ共有の説明
成績割合	テスト		なし	学習FB方法
	学習態度・出席率	操作理解度:40%+学習態度:60%		
	レポート		なし	成績評価
	合計		100%	
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	アトリエ及び組織事務所での多様な設計経験あり。			

出席率80%以上
S:90~100点
A:80~89点
B:70~79点
C:60~69点 D:59以下は不合格

シラバス

科目名	卒業制作		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 108時間
授業目的	インテリアの知識や考え方をもとに、生活や環境に対しての提案と設計計画をおこなう。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各自が調べ、決定した研究テーマから、その問題解決のための方法としてのデザインとプレゼンテーションのための制作をおこなう。			
授業概要	地球上の建築・都市空間は「人間の暮らし」の中から生まれる。制作の研究テーマは、「本当に必要なもの」とは何か？という検討から始まる。国や文化の違い、気候・風土の違いからわかること、過去に遡ることで見えてくる未来の姿などを参考にしながら、新たな「建築・インテリア・環境デザイン」を計画・提案し、模型およびプレゼンテーションボードの制作をおこなう。			
授 業 計 画 表		授 業 内 容		授 業 内 容
	1	オリエンテーション	19	
	2	オリエンテーション	20	
	3	オリエンテーション	21	
	4	研究、調査、計画について(問題の定義、情報収集)	22	
	5	プロジェクト・エスキス	23	
	6	敷地設定、スケッチ	24	
	7	イメージボード、コンセプトボード	25	
	8	イメージボード、コンセプトボード(中間発表)	26	
	9	作図、模型	27	
	10	作図、模型(中間発表)	28	
	11	制作(コンセプト・表現方法の検討)	29	
	12	制作(イメージボード・レイアウト)	30	
	13	プレゼンテーションボード(イラストレーター等)	31	
	14	プレゼンテーションボード・模型制作	32	
	15	プレゼンテーションボード・模型制作(中間発表)	33	
	16	プレゼンテーションボード・模型制作	34	
	17	プレゼンテーションボード・模型制作	35	
18	プレゼンテーションボード・模型制作・発表	36		
成 績 割 合	テスト	60(作品評価)	学習FB方法	
	学習態度・出席率	40%		
	レポート		成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	美術大学で建築を学びました。設計事務所勤務時に美術館・博物館などを担当しました。その後、集合住宅やオフィスなどのデザイン協力や、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加しました。住宅・別荘の設計や、室内・外部空間のデザインなどを行っています。			

シラバス

科目名	インテリアコーディネーター演習 2		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	演習
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 108時間
授業目的	前期:照明の基本的な用語や基礎知識を学ぶ。 後期:インテリアコーディネーター資格取得を目指す。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	的確な照明プランの提案ができるようになる。 IC資格取得を目指す。			
授業概要	クライアントの要求に応じた照明プランを作成し、理解しやすいビジュアルな手法でボードを作成する。 IC資格取得のため、小テスト・過去問演習により、知識の確認を行う。			
授業 計画 表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	<IC資格試験対策> 1. 内装材全般 他
	2	<照明>1. 照明に関する用語	20	小テスト・過去問演習 ①
	3	2. 配光別方式 他	21	2. インテリアアクセサリ類 他
	4	3. 光源の種類	22	小テスト・過去問演習 ②
	5	4. 照度計算について	23	3. インテリア関連法規 他
	6	5. 住宅の照明計画	24	小テスト・過去問演習 ③
	7	各室の照明プランについて ①	25	4. 衛生設備 他
	8	各室の照明プランについて ②	26	小テスト・過去問演習 ④
	9	各室の照明プランについて ③	27	5. 住宅設備全般
	10	6. LED光源の仕組みと種類	28	小テスト・過去問演習 ⑤
	11	7. 住宅のコンセント他、配線図	29	6. IC過去問演習 ①
	12	<課題> 戸建住宅の照明計画 課題説明	30	IC過去問演習 ②
	13	1.	31	IC過去問演習 ③
	14	2. コンセプト作成	32	IC過去問演習 ④
	15	3. エレメント選択	33	後期期末試験
	16	4. ボード作成	34	解答・解説 まとめ
	17	前期期末試験	35	まとめ 確認テスト ①
18	解答・解説 まとめ	36	まとめ 確認テスト ②	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	課題提出20%	成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	長年インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上			

シラバス

科目名	プレゼンテーション演習		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	演習
認定単位 開講学年	1.5単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 54時間
授業目的	模型や図面・パースなどの設計作業をパソコン上でも同様におこなうための表現方法を学ぶ。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	CADやCG、フォトショップ、イラストレーター等を利用しながら、各自の提案を「絵」として表現し、より良く伝えるための方法を考えながら、作品制作をおこなう。			
授業概要	社会の問題について、情報を収集・分析・検討し、問題解決のための「建築・環境デザイン」を計画・提案する。地球規模での自然災害、少子高齢化や人口減少社会、エネルギーシフトやAi化が進む近未来の暮らし方など、これからの人間の生活に本当に必要なものは何か？問題解決の可能性を探りながら、各自のプレゼンテーションボード制作をおこなう。			
授業 計画 表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	
	2	オリエンテーション	20	
	3	オリエンテーション	21	
	4	スケッチアップ、フォトショップ、イラストレーターの基本操作	22	
	5	スケッチアップ、フォトショップ、イラストレーターによる設計・計画	23	
	6	情報の分析と検討、計画のエスキス	24	
	7	建築デザイン(スケッチアップ等)	25	
	8	建築デザイン(スケッチアップ等)	26	
	9	建築デザイン(CAD等)	27	
	10	建築デザイン(CAD等)	28	
	11	プレゼンテーション(パワーポイント中間発表)	29	
	12	写真とカメラの表現	30	
	13	フォトショップによるイメージの変換	31	
	14	フォトショップによるイメージの変換	32	
	15	プレゼンテーション(パワーポイント中間発表)	33	
	16	ボード制作(イラストレーター等)	34	
	17	ボード制作(イラストレーター等)	35	
18	ボード制作・発表	36		
成績割合	テスト	60(作品評価)	学習FB方法	
	学習態度・出席率	40%		
	レポート		成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	美術大学で建築を学びました。設計事務所勤務時に美術館・博物館などを担当しました。その後、集合住宅やオフィスなどのデザイン協力や、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加しました。住宅・別荘の設計や、室内・外部空間のデザインなどを行っています。			

シラバス

科目名	空間デザイン2		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 108時間
授業目的	戸建住宅や商業店舗空間のトータルコーディネーションを学ぶ。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	住空間と商業空間の考え方の違いにより、インテリアがどう変化するかを学ぶ。			
授業概要	クライアントの要求に合ったコーディネーションプランをビジュアルな方法で提案できるように、プレゼンボードや模型製作の実習を行う。			
授業計画表	授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション	19	<課題> 店舗計画
	2	<課題> 戸建て住宅のインテリアプラン	20	※物品販売店の基本
	3	1. クライアントの要望分析	21	1. 各業態の商圏とについて
	4	2. コンセプトの構築 ①	22	2. 消費者意識と設計アプローチ
	5	コンセプトの構築 ②	23	3. 売り場づくりの基本と構成 他
	6	3. 空間プラン及びゾーニング ①	24	※ 課題店舗のセレクト
	7	空間プラン及びゾーニング ②	25	1.コンセプトの構築
	8	4. 平面プラン作成 ①	26	2. 空間プラン及びゾーニング ①
	9	平面プラン作成 ②	27	空間プラン及びゾーニング ②
	10	5. 各エレメント選択 ①	28	3. 各エレメント選択
	11	各エレメント選択 ②	29	4. 平面図・パース作成
	12	6. 平面図作成	30	5. 模型製作 ①
	13	7. パース作成 ①	31	模型製作 ②
	14	パース作成 ②	32	模型製作 ③
	15	8. ボード作成	33	模型製作 ④
	16	9. ボード・企画書 提出	34	6. ボード作成
	17	10. プレゼンテーション	35	7. プレゼンテーション
18	まとめ	36	まとめ	
成績割合	テスト	課題90%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	学習態度・出席率	10%		
	レポート			
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	長年インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上			

シラバス

科目名	設計製図2		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 108時間
授業目的	インテリアコーディネーターとして、実務にあたる時に必要な設計図の作成や、プレゼン業務をするために有効なスキルを身につける。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	実務者レベルの、設計図面を理解し、その作成法を取得し、プレゼンテーションができるようにする。			
授業概要	授業は二部構成とする。 「小さな飲食店」をテーマにインテリア計画をして、プレゼンする。 「傾斜地に建つ山荘」をテーマにインテリア計画をして、プレゼンする。 最初に設計製図の基本の復習を行う。代表的な作品群の紹介も行う予定。			
授業 計画 表	授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション(前期の課題を始めるにあたって)	19	課題2「傾斜地に建つ山荘」①
	2	「製図の基本」復習①	20	課題2「傾斜地に建つ山荘」②
	3	「製図の基本」復習②	21	課題2「傾斜地に建つ山荘」③
	4	課題「小さな飲食店」①	22	課題2「傾斜地に建つ山荘」④
	5	課題「小さな飲食店」②	23	課題2「傾斜地に建つ山荘」⑤
	6	課題「小さな飲食店」③	24	課題2「傾斜地に建つ山荘」⑥
	7	課題「小さな飲食店」④	25	課題2「傾斜地に建つ山荘」⑦
	8	課題「小さな飲食店」⑤	26	課題2「傾斜地に建つ山荘」⑧
	9	課題「小さな飲食店」⑥	27	課題2「傾斜地に建つ山荘」⑨
	10	課題「小さな飲食店」⑦	28	課題2「傾斜地に建つ山荘」⑩
	11	課題「小さな飲食店」⑧	29	課題2「傾斜地に建つ山荘」⑪
	12	課題「小さな飲食店」⑨	30	課題2「傾斜地に建つ山荘」⑫
	13	課題「小さな飲食店」⑩	31	課題2「傾斜地に建つ山荘」⑬
	14	課題「小さな飲食店」⑪	32	課題2「傾斜地に建つ山荘」⑭プレゼンテーション
	15	課題「小さな飲食店」⑫	33	作品のまとめ① 手直しなど
	16	課題「小さな飲食店」⑬	34	作品のまとめ② ポートフォリオの作成
	17	課題「小さな飲食店」⑭プレゼンテーション	35	作品のまとめ③ レポート「私のインテリア」
18	夏休みの課題	36	作品のまとめ④ レポート「10年後の私」	
成績割合	テスト		学習FB方法	
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	大学卒業後、建築設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰。 住宅設計に携わりながら、工学系専門学校非常勤講師として設計の手法を指導。また大学の公開講座等で、2級建築士や福祉住環境コーディネーターなど建築系の資格取得支援を行う。教材作成、出版、通信講座の添削等も担当。			

シラバス

科目名	建築設備		担当者名	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 72時間
授業目的	主な住宅設備の仕組みや使い勝手、注意点等の基本を学ぶ。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	生活の基盤である住宅に用いられている、各種住宅設備の知識を学び、建築プランニングに活かせるようにする。			
授業概要	身近な住宅設備の基本的知識を講義により習得する。			
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容
	1	<電気設備>役割・関連法規 他	19	<換気設備>
	2	1. 受変電設備 他	20	<給排水・衛生設備>
	3	2. 照明設備 照明に関する用語	21	1. 給水設備
	4	配光別方式①	22	給水方式・給水圧 他
	5	配光別方式②	23	配管類・ヘッダー工法 他
	6	建築化照明 他	24	2・給湯設備
	7	光源の種類 他	25	給湯方式 他
	8	照明器具の種類	26	3. ガス設備
	9	◇住宅各スペースの計画①	27	<衛生設備>
	10	◇住宅各スペースの計画②	28	便器・洗面・浴室①
	11	◇住宅各スペースの計画③	29	便器・洗面・浴室②
	12	◇住宅各スペースの計画④	30	確認テスト・まとめ
	13	◇住宅各スペースの計画⑤	31	
	14	◇照明計算・防災照明 他	32	
	15	3. コンセント設備	33	
	16	<厨房設備>概論	34	
	17	◇システムキッチン 建築構造と設備の関係	35	
18	◇ビルトイン機器と設備	36		
成績割合	テスト	90%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	10%		
	レポート		成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール				